

# 兵庫 筐 球

H Y O G O   B A S K E T B A L L   I N F O R M A T I O N

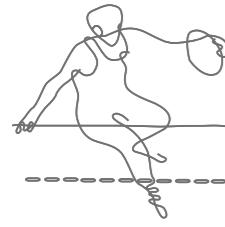
## No.176



第80回 兵庫県総合バスケットボール選手権大会 兼 第101回天皇杯・第92回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会 兵庫県代表決定戦  
13年ぶり優勝の関西学院大学

## Contents

- |   |  |
|---|--|
| P.2   | P.22   |
| 第36回 兵庫県バスケットボールカーニバル                                   | 第72回 近畿高等学校バスケットボール大会  |
| P.6   | P.26   |
| 第77回 兵庫県高等学校新人バスケットボール選抜優勝大会                            | 第41回 兵庫県ミニバスケットボール優勝大会   |
| P.10  | P.29   |
| 第35回 近畿高等学校バスケットボール新人大会                                 | 令和7年度 兵庫県中学校総合体育大会   |
| P.14  | P.31   |
| 第49回 近畿ミニバスケットボール交歓大会                                   | 令和7年度 全国高等学校総合体育大会<br>バスケットボール競技大会（インターハイ2025）                             |
| P.16  | P.33   |
| 第56回 マクドナルド全国ミニバスケットボール大会                               | 第80回 兵庫県総合バスケットボール選手権大会<br>兼 第101回天皇杯・第92回皇后杯<br>全日本バスケットボール選手権大会 兵庫県代表決定戦 |
| P.18  |  |
| 第69回 兵庫県高等学校総合体育大会バスケットボール競技<br>令和7年度 兵庫県高等学校バスケットボール大会 |  |



# 第36回 兵庫県バスケットボールカーニバル

## 多様なカテゴリーが一斉に集う！

2025年3月20日（木・祝） グリーンアリーナ神戸・神戸市立工業高等専門学校

### 《総評》

兵庫県バスケットボールカーニバルが、昨年度と同様に規模を拡大して開催された。グリーンアリーナ神戸のコート4面に、近隣の神戸高等専門学校の2面も加えられ、U12・U13・U14・U16・U18・大学・社会人という多種多様なカテゴリーの試合が展開された。グリーンアリーナの体育館外側にはキッチンカーなどが数台並び、昼食時間帯には順番待ちの列ができる。

お昼の時間帯には、プログラム冊子に記載された通し番号による「お楽しみ抽選会」が行われた後、Wリーグの姫路イーグレッツによるU12チームとの交流会、3×3体験、車イスバスケットボール体験が同時展開で行われた。

### ◆ Green Arena Kobe (グリーンアリーナ神戸) ◆

Time Schedule 開場 8:45

時間	Aコート	時間	Bコート	時間	Cコート	時間	Dコート
9:30	U18(高体連) (阪神 vs 神戸)	9:30	U14DC (兵庫 vs 和歌山)	9:30	U16DC 兵庫 vs 滋賀	9:30	会場設営
11:00	大学 流通科学 vs 関西学院	11:00	U14DC 兵庫 vs 和歌山	11:00	U16DC (兵庫 vs 阪神)	11:00	U18(高体連) 但馬 vs 神戸
12:30	お楽しみ抽選会 ①						
13:00	イーグレッツと キッズ交流		車いす体験 Ⅱ種登録者他		3×3体験 Ⅱ種登録者他		
14:00	社会人 社会人選抜 vs 地域リーグ選抜	14:00	U13DC 兵庫 vs 滋賀	14:00	U12DC (兵庫 vs 京都)	14:00	U18(高体連) (東播磨 vs 淡路)
15:30	社会人 (社会人選抜 vs 地域リーグ選抜)	15:30	U13DC (兵庫 vs 滋賀)	15:30	U12DC 兵庫 vs 京都	15:30	U18(高体連) 西播磨 vs 丹波有
17:00	お楽しみ抽選会 ②						

### ◆ Kobe Kosen (神戸高専) ◆

Time Schedule 開場 8:45

時間	Eコート	時間	Fコート
9:30	U13DC 滋賀 vs 兵庫	9:30	U12DC (京都 vs 兵庫)
11:00	U13DC (滋賀 vs 兵庫)	11:00	U12DC 京都 vs 兵庫
14:00	U14DC (和歌山 vs 兵庫)	14:00	U16DC 滋賀 vs 兵庫
15:30	U14DC 和歌山 vs 兵庫	15:30	U16DC (神戸 vs 兵庫)



グリーンアリーナの様子



神戸高専会場の様子



U12DC 男子 兵庫 vs 京都



U12DC 女子 兵庫 vs 京都



U13DC 男子 兵庫 vs 滋賀



U13DC 女子 兵庫 vs 滋賀



U14DC 男子 兵庫 vs 和歌山



U14DC 女子 兵庫 vs 和歌山



U16DC 男子 兵庫 vs 滋賀



U16DC 女子 兵庫 vs 阪神



U18 高体連男子 但馬 vs 神戸



U18 高体連女子 東播磨 vs 淡路



U18 高体連男子 西播磨 vs 丹波



U18 高体連女子 阪神 vs 神戸



神戸高専会場 U12DC 男子 滋賀 vs 兵庫



神戸高専会場 U12DC 女子 京都 vs 兵庫



大学男子 流通科学 vs 関西学院



社会人女子 社会人選抜 vs 地域リーグ選抜



社会人男子 社会人選抜 vs 地域リーグ選抜



3 × 3 体験



イーグレットとキッズ交流



車いす体験



## 【第1Q】

互いにハーフコートのマンツーマンディフェンスで試合開始。神戸龍谷は⑩中野のゴール下シュートで先制するが、残り7分から三田松聖は⑨木下のアシストから⑪井村と⑫四谷が連続得点して2-13となり、神戸龍谷はたまらずタイムアウト。その後、神戸龍谷は2-1-2ゾーンを仕掛けたが、三田松聖に傾いた流れは止まらず、10-25で三田松聖がリードして第1Q終了。

## 【第2Q】

神戸龍谷は⑩山下のリバウンドからのゴール下シュート、⑪中野の3Pシュートで点差を縮めようとするが、三田松聖は⑨木下と⑫小田の多彩な攻撃で得点を重ねる。残り1分、神戸龍谷は⑩櫻井のポストプレーからバスケットカウントで9点差に縮めるも、三田松聖⑧小田の鋭いドライブと3Pシュートの連続得点で点差は縮まらない。33-47で三田松聖がリードして前半終了。

## 【第3Q】

両チームともハーフコートマンツーで後半開始。互いに点を取り合う展開となり、点差は中々縮まらない。残り3分から神戸龍谷が2-1-2ゾーンを仕掛けて試合の流れを変え、⑩櫻井の3Pシュート、⑬藤田のスティールからのレイアップシュートで点差を詰める。55-65で三田松聖がリードして最終クオーターへ。

## 【第4Q】

神戸龍谷は2-1-2ゾーンを続ける。神戸龍谷は⑬藤田のジャンプシュートから流れを掴み、連続得点で3点差まで縮める。三田松聖⑧小田が果敢にドライブするが、なかなか得点に繋がらない。一方、神戸龍谷は⑩山下のローポストからのフェイドアウェイシュートで1点差に詰め寄る。三田松聖はタイムアウト後に連続得点して再び4点差に広げるが、神戸龍谷は積極的にオフェンスリバウンドに絡み、残り2分に⑪井藤のフリースローで72-72の同点に



追いつく。そして残り1分、神戸龍谷は⑩櫻井の3Pシュートで逆転に成功する。三田松聖はタイムアウト後、⑨木下のドライブで1点差に縮め、オールコートマンツーでディフェンスのプレッシャーを強めて逆転を狙うが、ファウルでフリースローを与えてしまう。それを神戸龍谷⑩櫻井が落ち着いて1本決め、76-74で神戸龍谷が優勝した。



75-72と逆転した神戸龍谷⑩櫻井の3P シュート

## 第77回兵庫県高等学校新人バスケットボール選抜優勝大会

## キャプテンインタビュー

## CAPTAIN INTERVIEW...BOYS &amp; GIRLS

男子  
優勝チーム報徳学園高等学校  
⑭ 野々部 旺樹くん

## ①優勝を決めた今の気持ちは

Ⓐ「優勝するぞ!」という意気込みがあり、チームが良い流れでここまで来ました。

## ②決勝戦を振り返って／決勝の勝負のポイントは

Ⓐ最初に点差を開けることができてよかったです。

## ③今大会を振り返って

Ⓐ日頃の練習で(特にディフェンスで)強度を上げて取り組んでいたので、その成果が出てよかったです。

## ④キャプテンとして心掛けてきたこと

Ⓐバスケ以外の部分です。ベンチを綺麗にとか、リュックをきちんと並べるとか、上下関係がある程度緩いんですけど、メリハリをつけて厳しく言うところは厳しく言って、ダラダラしてしまわないようにしました。

## ⑤チームの課題と目標

Ⓐ課題はディフェンスで、相手を60点以下に抑えることを目標に、普段から強度を上げて取り組みたいです。オフェンス面では、ピック&ロールの精度を高めることです。また、ルーズボールも相手に負けないようにしたいです。

近畿大会優勝と、全国ベスト4を目指しています。

女子  
優勝チーム神戸龍谷高等学校  
⑩ 山下 花さん

## ①優勝を決めた今の気持ちは

Ⓐすごく嬉しいです。

## ②決勝戦を振り返って／決勝の勝負のポイントは

Ⓐみんなで手の甲に書いていた「SPIRIT」という文字を全員で共有できました。

## ③今大会を振り返って

Ⓐ自分達には「勝つ」という自信があったので、それを体現できてよかったです。

## ④キャプテンとして心掛けてきたこと

Ⓐ最初は自分がどうにかしないと!という気持ちでしたが、大会が近付くにつれてチームも自分も「みんなで頑張ろう」と考えて取り組むことができました。

## ⑤チームの好きなところ(アピールポイント)

Ⓐアピールポイントは、全員が元気で笑顔が可愛くて、みんなで決めたことをやり切るところです。

## ⑥顧問、チームメイトへのメッセージ

Ⓐ(顧問の先生には)今まで自分たちを、(チームメイトには)自分を、信じてくれてありがとうございます。

## ⑦チームの課題、近畿大会での目標

Ⓐ課題は、まだまだ抜けるところがあるので無くしていいことがあります。近畿大会の目標は、一つでも多く勝って兵庫県の強さを近畿に知らしめたいことです。

## ●男子優秀選手

野々部 旺樹(報徳学園⑭)  
松本 晃瑠(報徳学園⑩)  
トンプシン クリントン(報徳学園⑬)  
山本 優斗(育英⑩)  
常深 星良(彩星工科⑤)  
美馬 優翔(関学⑫)  
岩田 璃久(尼崎双星⑪)  
西森 太陽(明石南⑧)  
松本 冴太郎(神港学園⑬)  
長尾 龍希(神戸科技⑬)

## ●女子優秀選手

山下 花(神戸龍谷⑩)  
櫻井 奈実(神戸龍谷⑩)  
中野 杏奈(神戸龍谷⑪)  
木下 楓(三田松聖⑨)  
河嶋 りんご(市立尼崎⑩)  
村岡 凜央(日ノ本④)  
皆木 芽生(神戸星城⑨)  
南部 心優(神港学園④)  
後藤 彩心(須磨学園⑤)  
東平 小冬(園田⑪)

# 第35回近畿高等学校バスケットボール新人大会

男子・報徳がベスト4入り！

会場：和歌山ビッグホール

日時：令和7年2月15日(土)～16日(日)

## 《総評》

近畿新人大会は、和歌山ビッグホールで二日間にわたって開催された。

女子決勝は、2年連続で全国インターハイ、U18トップリーグ、全国ウインターカップの3冠を達成した京都精華学園が、大阪薫英女学院を82-68で破り、3年連続3回目の優勝を飾った。

男子決勝は、東山(京都)が初の決勝進出を果たした箕面学園(大阪)を90-63で下し、2年ぶり6回目の優勝を飾った。

女子の兵庫県勢は、県新人で優勝した神戸龍谷が、初戦で和歌山信愛にリードを奪うものの第4Qに逆転され、終了間際の4本のフリースローを決めきれず、2点差で惜敗した。県新人で準優勝した三田松聖は2回戦で京都両洋に80-82の2点差で敗れ、準決勝進出はならなかった。3位だった市立尼崎は、この大会で準優勝した大阪薫英女学院に初戦において53-76で敗れた。

男子の兵庫県勢は、県新人3位だった彩星工科が69-53で和歌山工業に対して勝利を挙げたが、2回戦でこの大会で優勝した東山に敗れた。県新人で準優勝した育英は、1回戦で強豪の洛南(京都)に60-77で敗れた。県新人で優勝した報徳は、1回戦で大阪府予選において優勝した第4シードの阪南大学との接戦を64-59で勝ち切り、続く2回戦の立命館守山(滋賀)を圧倒し、準決勝に進出した。そこで優勝した東山に粘りを見せたが、65-74で敗れた。

(戦評は和歌山県高体連のものを改変しています)

## 男子

### 1回戦

報徳 64 [17 - 9 · 14 - 22] 59 阪南大学  
14 - 13 · 19 - 15 (大阪)



彩星工科 69 [22 - 13 · 17 - 20] 53 和歌山工業  
16 - 5 · 14 - 15



育英 60 [11 - 13 · 26 - 25] 77 洛南  
11 - 18 · 12 - 21 (京都)



### 2回戦

彩星工科 62 [22 - 33 · 14 - 21] 118 東山  
11 - 31 · 15 - 33 (京都)

### 戦評

【第1Q】両チームともマンツーマンディフェンスでゲーム開始。立命館守山は⑤西村、⑦山本のドライブで得点、対する報徳は⑭野々部のドライブや⑮綾の速攻で得点。高さを活かした報徳のディフェンスに対して苦しんだ立命館守山であったが、激しいディフェンスからベースを戻し、13-8報徳リードで第1Qを終える。



を起点に得点する。東山は1-2-1-1ゾーンプレスを仕掛け、相手のミスを誘い22-33で東山がリード。

【第2Q】東山は⑦新井の3Pシュート、⑩鈴木のミドルシュートで着実に加点。対する彩星工科はディフェンスをゾーンに切り替えて流れを掴もうとするも、思うように点数が縮まらず、36-54東山リードで前半終了。

【第3Q】東山は⑤佐藤(嵐)を中心にオフェンスを組み立て、⑥カンド、⑨エトウのインサイドプレイ、⑦新井、⑧中村の3Pシュートで得点を重ねる。彩星は⑬中内のドライブインを中心に得点を試みるも得点を奪えず、終始東山ペースのまま47-85で第3Qを終える。

【第4Q】東山は速いトランジションから確率の高いシュートを着実に決める。彩星もこの展開に食らいつくも、流れを掴めないまま62-118で東山が準決勝へ駒を進めた。

報徳 90 [13 - 8 · 30 - 16] 45 立命館守山  
22 - 10 · 25 - 11 (滋賀)

### 戦評

【第1Q】両チームともマンツーマンディフェンスでゲーム開始。立命館守山は⑤西村、⑦山本のドライブで得点、対する報徳は⑭野々部のドライブや⑮綾の速攻で得点。高さを活かした報徳のディフェンスに対して苦しんだ立命館守山であったが、激しいディフェンスからベースを戻し、13-8報徳リードで第1Qを終える。

【第2Q】報徳は⑭野々部のドライブ、⑯トンプシンのゴール下の連続ゴールで立命館守山はたまらずタイムアウト。立命館守山は



⑦山本、⑫藤原（梨）の3Pシュートで食らいつく。しかし報徳の激しいディフェンスの前にミスを連発、ディフェンスから得点を伸ばした報徳が43-24とリードして前半を終える。

【第3Q】立命館守山は⑪藤原（陽）の3Pシュート、バスケットカウントで得点を重ねるが、高さを活かした報徳の堅いディフェンスの前にシュートがなかなか決まらない。⑬トンプシンを中心にゴール下の得点を重ねる報徳が65-34でリードし、第3Qを終える。

【第4Q】立命館守山は激しいディフェンスから活路を見いだそうとするが、リズムのいい報徳のオフェンスを止めることができない。90-45で報徳が準決勝進出を決める。



#### 準決勝

報徳 61 [ 11 - 24 · 18 - 21 ] 73 東山（京都）

#### 戦評

【第1Q】両チームともマンツーマンディフェンスで試合開始。まずは東山が連続得点し、ゲームの先手を取る。報徳はタイムアウトを取るが、東山はその後、1-2-1-1ゾーンプレスとハーフコートマンツーマンを織り交ぜながら試合を優位に進め、11-24と13点リードで第2Qへ。

【第2Q】序盤は、東山が引き続きプレスを織り交ぜてプレッシャーをかけて報徳のリズムを崩し、ファウルを誘い主導権を握る。



終盤にかけて報徳は集中力を切らさず、ミドルシュートを立て続けに決めるなど善戦し、29-45の16点差で試合は後半へ。

【第3Q】報徳は開始直後、⑯西谷の連続3Pシュートで得点差を縮める。その後、東山が押し気味に試合を進めたが、終盤になって報徳が④野々部、⑩松本による連続得点で点差を1桁まで縮める。しかし、その後東山が⑤佐藤（凪）のドライブ、⑨エトウのインサイドによる得点でリードを広げ、43-55で最終クォーターへ。

【第4Q】報徳は、⑯西谷のドライブや3Pシュートなどで得点するが、東山も⑤佐藤（凪）のゲームコントロール、⑧中村や⑦新井の3Pシュートで得点するなど白熱した攻防が続き、互角の戦いを演じる。最後は第1Qでのリードを守り切った東山が61-73で勝利をおさめ、決勝進出を果たした。報徳⑯西谷は3Pシュート6本を含む24得点と健闘した。



三田松聖 98 [ 25 - 11 · 21 - 16 ] 59 市立和歌山



大阪薫英女学院 76 [ 17 - 16 · 26 - 14 ] 53 市尼崎

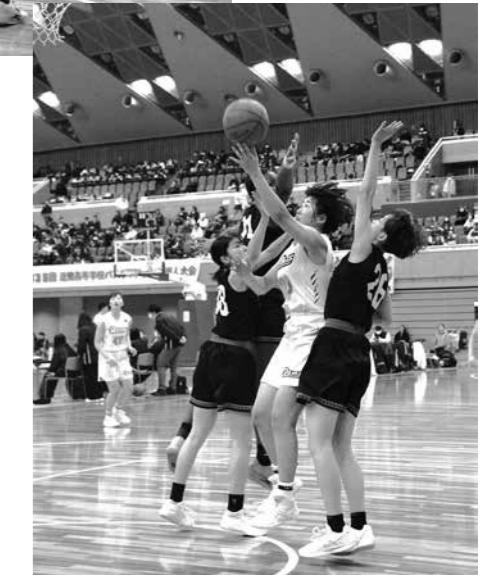


サイドからの力強いドライブで得点する。京都両洋は徹底して⑭ビクトリアにボールを集め、ポストプレイで得点していく。32-25三田松聖7点リードで終える。

【第2Q】京都両洋は⑮藤田のドライブからの連続得点や、ハイローのポストプレイで点差を縮めていく。残り5分、三田松聖たまらずタイムアウト。その後、京都両洋はディフェンスをオールコートマンツーマンに変えて相手のリズムを崩しにかかる。三田松聖は第1Qに続きリバウンドからの速い展開、⑯小田のスピードあるドライブでペイントアタックしていくが、思うようにシュートを決めることができない。42-42の同点で前半を終える。

【第3Q】前半に続き、京都両洋⑭ビクトリアのポストプレイに対し、三田松聖はダブルチームで対応するが、高さのある攻撃をなかなか止めることができない。しかしオフェンスでは⑯木下や⑯小田の1on1、また激しく粘り強いディフェンスからのステイブルなどで着々と得点し、リードを奪う。終了間際にも⑯木下が3Pシュートを決め、勢いに乗る。70-62三田松聖リードで第3Qを終える。

【第4Q】京都両洋が速攻からの攻撃、⑭ビクトリアの1on1で第4Q出だしの流れを掴み、点差を詰める。残り7分、72-70と2点差に詰められて三田松聖がタイムアウト。互いに譲らぬ戦いは、残り15秒で80-80の同点。京都両洋がタイムアウト後、⑯古川がドライブからのシュートを決め、試合を決めた。80-82で惜しくも三田松聖は敗れた。三田松聖⑯木下は30得点と活躍したが、圧倒的な高さと幅を持つ京都両洋⑭ビクトリアにチームディフェンスで対応するも39得点を奪われた。



2回戦  
三田松聖 80 [ 32 - 25 · 10 - 17 ] 82 京都両洋

#### 戦評

【第1Q】両チームともハーフコートのマンツーマンディフェンスでゲーム開始。三田松聖は⑯木下を中心に3Pシュート、アウト

#### 女子

##### 1回戦

神戸龍谷 67 [ 21 - 15 · 14 - 18 ] 69 和歌山信愛



# 第49回 近畿ミニバスケットボール交歓大会

2025年3月1日(土)・2日(日)

神戸総合運動公園体育館(グリーンアリーナ神戸)

## 《総評》

3月1日(土)・2日(日)の2日間の日程で神戸市総合運動公園体育館にて開催。近畿6府県から男女各3チームずつ、総勢36チームが、1位、2位、3位のリーグに分かれて熱戦を繰り広げた。兵庫県からは、男子が人丸EAGLES(東播)、SILVER BACKS(東播)、洲本MBBC(淡路)、女子は、EPIC BASKETBALL ACADEMY(阪神西)、魚崎ミニバスケットボールクラブ(神戸)、北エンジェルス(神戸)が出場した。

全体を通して、個々の技術だけでなく、チームの戦術の完成度の高さが問われる大会となった。兵庫県のチームは1試合目から白熱したゲームを展開し、他の府県のチームにも劣らない素晴らしいゲームを繰り広げた。2位リーグの1位に輝いた魚崎ミニバスケットボールクラブは、初戦から安定した試合運びを見せた。



## 男子

### 1位リーグ

#### Aブロック

沢池 57 [14-12-12-8] 44 彦根城南

人丸 42 [14-11-10-11] 40 彦根城南

### 3位リーグ

#### 3位戦

洲本 43 [15-3-12-6] 19 楠見西

#### 3位戦

福知山 65 [20-8-19-8] 22 楠見西

#### 3位戦

守山南 57 [25-4-12-17] 33 楠見西

#### Fブロック

福知山 48 [16-6-10-18] 28 守山南

#### Fブロック

人丸 42 [14-4-16-8] 28 守山南

#### Eブロック

人丸 42 [13-4-11-10] 28 守山南

#### Eブロック

人丸 42 [14-11-10-11] 40 彦根城南

#### Dブロック

人丸 42 [14-11-10-11] 40 彦根城南

#### Cブロック

人丸 42 [14-11-10-11] 40 彦根城南

#### Bブロック

人丸 42 [14-11-10-11] 40 彦根城南

#### Aブロック

人丸 42 [14-11-10-11] 40 彦根城南

### 2位戦

守山南 46 [17-6-17-9] 41 KYGNUS

### 1位戦

真弓 52 [4-12-11-19] 49 福知山

### 2位リーグ

#### 3位戦

AZAI 53 [15-7-13-9] 41 當麻

### 2位戦

SILBER BACKS 48 [12-6-9-11] 47 SUNRISE

### 1位戦

北白川 47 [18-12-12-13] 45 北翼

### 1位リーグ

#### 3位戦

彦根城南 54 [14-21-8-7] 35 紀伊

### 2位戦

人丸 54 [17-14-6-15] 44 都跡

### 1位戦

沢池 59 [15-14-10-19] 30 ディアボーズ

### 女子

### 1位リーグ

#### あブロック

沢池 57 [9-19-12-16] 33 EPIC

#### いブロック

沢池 65 [15-15-5-21] 20 レインボー

#### うブロック

亀岡 34 [6-13-12-9] 33 藤原

#### うブロック

藤原 34 [7-4-12-8] 30 有功

#### うブロック

有功 47 [18-10-8-21] 30 亀岡

### 2位リーグ

#### うブロック

魚崎 38 [6-12-12-10] 36 Genius

#### うブロック

魚崎 30 [8-8-4-11] 22 平群

#### うブロック

Genius 40 [13-8-11-11] 32 平群

### えブロック

貴志川 33 [9-8-3-6] 24 平野

ザ・イーグルス 37 [10-12-7-6] 33 貴志川

ザ・イーグルス 51 [7-19-6-13] 28 平野

### 3位リーグ

#### おブロック

FALCONS 44 [16-14-7-6] 37 北

FALCONS 49 [14-11-16-14] 48 与謝野

与謝野 44 [20-7-10-10] 40 北

#### かブロック

天理西 43 [8-12-7-8] 29 滋賀大付属

HONMACHI 43 [8-20-15-8] 41 滋賀大付属

天理西 50 [8-11-5-16] 26 HONMACHI

### 3位リーグ

#### 3位戦

北 49 [7-15-6-4] 35 滋賀大付属

#### 2位戦

与謝野 41 [11-17-2-8] 33 HONMACHI

#### 1位戦

FALCONS 60 [22-12-8-14] 28 天理西

### 2位リーグ

#### 3位戦

平野 36 [14-7-12-6] 34 平群

#### 2位戦

Genius 34 [12-5-9-7] 29 貴志川

#### 1位戦

魚崎 52 [9-16-0-18] 17 ザ・イーグルス

### 1位リーグ

#### 3位戦

レインボー 49 [20-10-6-16] 44 亀岡

#### 2位戦

藤原 36 [5-8-9-6] 31 EPIC

#### 1位戦

沢池 59 [6-21-7-10] 30 有功

# 第56回 マクドナルド全国ミニバスケットボール大会

2025年3月28日(金) ~ 31日(日)

国立代々木第一体育館・第二体育館

## 【総評】

代々木での最後の開催となる大会。今大会から特別ルールとして、スリーポイントが導入された。

コートデザインに少し戸惑いながらも練習の成果を發揮して、笑顔でそれぞれの日程を終えることができた。

次回は、武蔵野の森総合体育館に会場を移し、スリーポイントに加えて、305の高さのリング、6号ボールの使用とこれまでとは違った大会になることだろう。来年はどんなドラマが待っているのだろうか。

## 男 子

【出場チーム 魚崎ミニバスケットボールクラブ】

VS 白石ミニバスケットボールチーム（北海道） ●23-53

## 戦評

全国大会初戦。緊張感から動きが硬くなかなかリズムをつかむことができない。その間に相手チームは、エースを中心とした攻めで点差を一気に広げる。2Qメンバーが変わり反撃の糸口をつかみたい。ドライブを中心に果敢にゴールにアタックするが、相手のディフェンスに阻まれ思うようにシュートに行くことができない。リズムをつかめないまま、9-30で前半を終える。メンバーがそろった後半。ディフェンスのプレッシャーを強め、ミスから速攻などで点数を加えていくが、相手も攻撃の手を緩めない。最後まであきらめることなくプレイした選手たちであったが、ほろ苦い初戦となった。

VS 倉敷ミニバスケットボールクラブ（岡山） ○39-39

## 戦評

緊張感から解放された2試合目。出だしからシュートが決まり率先のいいスタートを切る。高さをアドバンテージに得点を重ね、リードを保ち1Qを終えた。お互いにディフェンスのプレッシャーを強めペースをつかませたくない2Q。シュートを決めれば決め返す、なかなか点差が変化しないまま時計が進んでいく。23-18でリードを保ったまま前半を終えた。3Q1対1を起点に点数を重ねていきたい魚崎であったが、思うように攻め切ることができない。相手チームは、今大会から導入された3Pを積極的に狙う。そんな中、魚崎が高さを生かし少しづつ点差を広げていく。相手も点差を広げられないよう、必死に食らいつく。魚崎7点リードで最終Qへ。最終Qお互いの意地と意地がぶつかりあう、なんと3:30からお互い2点ずつしかとることができない。高さを生かした攻めと守りで前半からのリードを守り切った魚崎の勝利となった。

VS 北島スパークスマニバスケットボールクラブ（徳島） ●36-37

## 戦評

泣いても笑っても最後の試合。出だし魚崎は高さを生かし、ゴール下から得点を量産していく。相手チームは、ボールを回し3Pを狙う。その3Pが決まり7-11のビハインドで1Qを終える。2Q出だしから相手がディフェンス、オフェンスともにギアを上げ引き離しにかかる。何とかしたい魚崎は、1対1を仕掛けようとするがディフェンスに阻まれ、思うように攻められない。9点のビハインドで前半を終えた。何とか挽回したい魚崎は後半からディフェンスの強度を上げ、相手のミスを誘う。攻めでは、インサイドに果敢に切れ込み相手のファールを誘う。点差を6点に縮め最終Qへ。出だしリズムをつかんだのは相手チーム。次々とゴールを決め、点差が広がっていく。しかし、魚崎も負けじとディフェンスから速攻で点数を詰める。残り1分。エンドスローからのシュートが決まり、1点差。相手の背中をとらえるが、逆転には至らず。最後まで1点を争う好ゲームであった。



## 女 子

【出場チーム 西宮浜SEAGULLS】

VS 桜丘ドリームゲッターズ（鹿児島） ○57-45

## 戦評

全国大会初戦。出だしは緊張感から動きが硬くなかなかリズムに乗れない。2Q出だしから足を使ったDEFで相手を封じ込める。逆転し勢いをつけて後半へ。どちらのチームもベストメンバーがそろい、一進一退の攻防が続くが、前半のリードを活かして12点差で勝利することができた。終盤には、ベンチメンバーもコートに立ちいい状態で大会2日目へ臨むことができた。

VS 川口じりんMBC（埼玉） ●32-51

## 戦評

埼玉の強豪チームとの一戦。お互いマンツーマンからのトラップなど激しいDEFから速攻をしかける。2Qになり相手チームのプレッシャーが強まる。プレッシャーに対してなかなか打開することができない。苦しい状況を耐え8点差を追いかけて後半へ。後半、両チームのベストメンバーがそろう。激しいDEFのやりあいが続く。均衡が崩れたのは4Q。これまでの相手DEFのプレッシャーがボディープローのように、チームの体力を奪っていた。ミスや消極的なプレイがでて一気に点差が開く。それでもあきらめることなく走り続けたが、及ばず。敗戦となった。

VS 宇和島明城MBC（愛媛） ○60-49

## 戦評

全国大会での最後の試合。相手チームには絶対的なエースがあり、その子にどう対応するかがカギとなる試合だった。1Qはお互い譲らず。2Q相手エースがない時間帯を狙って激しいDEFで相手のミスを誘う。一気にリードを広げて後半へ。3Q、勢いそのままに点差を広げていく。大量リードを保って最終Qへ。最終Qこのまま



では終われない相手チームも意地を見せるが、大量リードを守りきり最終戦を勝利で終えることができた。



# 第69回兵庫県高等学校総合体育大会バスケットボール競技 令和7年度兵庫県高等学校バスケットボール大会

男子報徳、盤石の7連覇！（※7大会連続7回目）

女子三田松聖、新人大会のリベンジを果たす！（3年連続3回目）

令和7年5月10日（土）～6月8日（日）

ライフパートナーアリーナ（県立総合体育館）、王子スポーツセンター、各高校体育館

## 【総評】

令和7年度の県総体は、近畿大会が兵庫県開催のため、例年7チームだった近畿大会出場枠が8チームと増えるなかで開催された。なお、全国インターハイの出場権は3年前から男女優勝チームのみに減っている。また、合同チームの参加が男女で計8チームあったが、なかでも女子の姫路・琴丘が健闘し、ベスト16入りした。

男子は、近畿大会に出場できるベスト8入りをかけて熾烈な戦いが繰り広げられた。16シードの星陵は、5回戦で8シードの尼崎双星を延長の末に70-66で降して近畿大会の出場権を獲得した。神港学園は初戦となる2回戦を延長で何とかしのぐと、混戦を勝ち上がってきた東播工に62-56で競り勝った。明石南と神戸科技は8シードを守りきり、近畿大会の出場権を獲得した。なお、16シードの滝川は5回戦で準優勝した育英に66-68と健闘したが敗れ、近畿大会の出場はならなかった。

男子の準決勝は育英が彩星工科に95-81で逆転勝利を収め、県新人大会の準決勝で敗れた借りを返した。もう一方の準決勝は報徳が関学を降した。そして男子決勝は、個人技と高さで優位なメンバーをそろえた報徳が、粘る育英を徐々に攻略して圧倒し、7連覇を決めた。3位決定戦は彩星工科が関学に快勝した。

女子は、5回戦で16シードの百合が8シードの須磨学園に62-61の大接戦で逆転勝利をものにした。また、神港学園、神戸星城、園田学園は8シードを守りきり、近畿大会の出場権を得た。宝塚西は園田学園に54-58と健闘したが、近畿大会にあと一步届かなかった（昨年も園田学園に6点差負け）。

女子決勝の組み合わせは、準決勝で日ノ本を降した三田松聖と、市尼崎を降した神戸龍谷の対決となったが、多彩な攻撃で得点を重ねた三田松聖が快勝し、新人大会で敗れたリベンジを果たした。3位決定戦は市尼崎が日ノ本に快勝した。

## 男子

### 準決勝

報徳 99 [ 29 - 15 · 28 - 17 ] 73 関学

育英 95 [ 23 - 28 · 28 - 13 ] 81 彩星工科

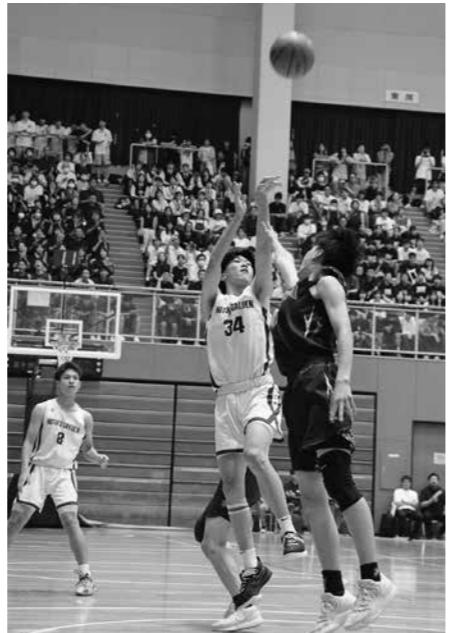
### 3位決定戦

彩星工科 86 [ 13 - 10 · 26 - 16 ] 74 関学

### 決勝

報徳 74 [ 15 - 10 · 20 - 13 ] 53 育英

報徳					育英					
反則	自投	(2)野	(3)野	得点	No	No	得点	(3)野	(2)自投	反則
1	1	2	0	5	山本 勇生	1 9	久下 寛人	-	-	-
0	0	5	2	16	澤山 陸	8 10	齋藤 貴道	2 0	0 2	3
0	1	1	0	3	早崎 心	11 13	宍島 結月	-	-	-
1	0	0	0	0	伊藤 悠空	23 17	永江 奏楽	0 0	0 0	1
4	2	7	1	19	松本 晃瑠	34 19	橋 利一	-	-	-
3	0	1	0	2	吉田 智希	36 22	篠田 風斗	18 3	3 3	1
4	5	1	0	7	トバンクリントン	43 23	玉野慎之助	0 0	0 0	1
1	0	1	0	2	中西 淳希	44 24	金本 歩夢	-	-	-
2	0	1	1	5	西谷 泰地	46 30	麻植 貴太	-	-	-
-	-	-	-	-	野々部旺樹	47 31	阿部りあむ	1 0	0 1	1
0	0	0	0	0	綾 杓汰	48 42	肥塚 瑞生	11 3	1 0	2
1	0	0	0	0	小松龍太朗	54 52	川辺 唯央	-	-	-
2	0	5	0	10	寺尾 文太	72 60	山本 優斗	9 0	2 5	4
0	0	0	0	0	岩永 隼人	73 69	川村 海誠	11 1	2 4	2
4	0	1	1	5	寺澤 煌月	82 77	福本 健	1 0	0 1	3
23	9	25	5	74			53	7	8	16 18



## 戦評

### 【第1Q】

育英ボールでスタートする。ディフェンスは両者マンツーマン。開始から、報徳④松本のミドルショット、①早崎のドライブ、④松本のドライブと報徳が立て続けにスコアし流れを掴む。対する育英は3Pシュートがなかなか決まらない。開始2分半のメンバー交代で④肥塚、⑥山本を投入するがそれでも無得点が続く。残り5分40秒、報徳⑪早崎の3Pシュートが決まり、9-0となったところで育英が前半一回目のタイムアウト。しかしその後も流れは変わらず、報徳が13-0まで得点を伸ばす。残り3分23秒、育英は⑪阿部がドライブからフリースローを獲得し、13-1と初得点。その後は

育英がリズムを掴みはじめ、終了間際に育英②篠田が3Pシュートを沈めて追い上げる。15-10と報徳5点リードで第1Q終了。

### 【第2Q】

報徳ボールで再開。序盤から報徳優勢の時間帯が続く。報徳②寺澤のゴール下、④松本の連続得点で19-10とする。対する育英は、残り6分31秒、⑩川村がロングドライブから得たフリースローを2本沈めて第2Q初スコア、19-12とする。その後、報徳はオフェンスリバウンド等でポゼッションの回数を増やし、着実にスコアを重ねていく。残り5分18秒、報徳④松本のドライブが決まり、23-12と二桁点差が付いたところで、育英前半2回目のタイムアウト。タイムアウト後も報徳優勢の時間が続くが、残り1分50秒から育英④肥塚が連続でコーナー3Pシュートを沈め、何とか望みをつなぐ。35-23報徳リードで後半へ。



### 【第3Q】

残り8分、育英は②篠田がコーナー3Pシュートを決め、前半終盤に続いて追い上げムードに乗る。しかし、対する報徳は④松本を中心に得点を伸ばし、報徳⑧澤山と②寺澤が連続で3Pシュートを沈め、点差を44-26と広げた残り6分55秒、育英が後半一回目のタイムアウト。その後も、育英の得点が止まっている間に報徳がスコアを重ね、56-34と22点差をつけて第3Q終了。リバウンドなどで優位に立った報徳のポゼッションの多さが目立った。育英は⑩川村を中心に1on1からドライブを試みるも、タフショットが多く決定率が上がらなかった。

### 【第4Q】

このクォーターも同様の展開が続く。育英は要所で⑩川村や②篠田が3Pシュートを沈める。しかし、開始5分で最も目を引いたのは報徳⑦寺尾であった。ドライブから多様な攻めを展開し、5分間で6得点1アシストを記録した。その後も最後まで報徳優位の流れは変わらず、74-53と22点差をつけて報徳が勝利した。



【最優秀選手】松本 晃瑠（報徳④）

【優秀選手】西谷 泰地（報徳④）

野々部旺樹（報徳⑦）

川村 海誠（育英⑩）

常深 星良（彩星工科⑤）

美馬 優翔（関学②）

中平 羽海（明石南④）

岸原 翔（神戸科技⑭）

松本冴太郎（神港学園⑬）

堀田 豊雄（星陵⑮）

## 女子

### 準決勝

神戸龍谷 74 [ 23 - 16 · 19 - 14 ] 63 日ノ本

三田松聖 98 [ 19 - 15 · 26 - 16 ] 73 市尼崎

### 3位決定戦

市尼崎 85 [24-22・26-15] 76 日ノ本  
22-13・13-26

### 決勝

三田松聖 94 [23-13・22-19] 61 神戸龍谷  
23-11・26-18

三田松聖

神戸龍谷

反則	自投	(2)	(3)	得点	No.	No.	得点	(3)	(2)	自投	反則
自	投	野	野	得			点	野	野	投	
-	-	-	-	松本 結月	0	2	岩元 奏美	-	-	-	-
2	2	5	0	12	梅川すずの	6	6	藤田 弓楽	13	1	5
1	2	0	0	2	日比野仁誇	9	7	近藤 智菜	3	1	0
1	2	1	4	16	花房 結菜	11	11	田中 謙	0	0	0
-	-	-	-	魚住 瑞香	13	13	田中 佑実	9	0	4	1
-	-	-	-	黒田 希歩	14	17	小林明香里	-	-	-	-
-	-	-	-	新家 穂華	23	21	祇園 美夢	-	-	-	-
3	2	11	0	24	井村 真依	24	25	櫻井 奈実	8	1	2
1	0	0	1	3	河合 杏実	32	29	脇本 晴	-	-	-
-	-	-	-	中村 莉碧	33	32	西村郁里奈	-	-	-	-
0	0	0	0	大西 葵	39	34	中野 杏奈	7	0	2	3
1	0	4	1	11	四谷 花音	47	39	根津ひまり	-	-	-
1	0	0	0	0	中村 その	55	87	山下 花	17	0	8
0	0	4	1	11	木下 楓	79	88	坂根 愛羽	-	-	-
0	1	4	2	15	小田歩羽彩	88	91	井藤 愛	4	0	2
10	9	29	9	94			61	3	23	6	16

### 戦評

県新人戦で優勝し、平成23年以来の優勝を目指す神戸龍谷と、3年連続の県総体優勝を目指す三田松聖との決勝戦。

#### 【第1Q】

両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。立ち上がり、リズムよくシュートを決めたのは神戸龍谷。⑥藤田のミドルシュートやドライブ、④中野のミドルシュートが決まる。対する三田松聖は④井村の連続得点や④四谷の3Pシュートで立て直し、残り4分17秒、三田松聖10-8の2点リードで神戸龍谷タイムアウト。しかしその後も三田松聖の勢いが止まらず、⑪花房の3Pシュートやレイアップ、④四谷のゴール下で17-8と三田松聖がリードを広げる。神戸龍谷も⑬田中の合わせ、⑧山下のミドルシュートで17-13の4点差まで追い上げるが、ディフェンスの強度が上がり寄せが早くなった三田松聖に対してミスが続く。三田松聖は④井村のバスケットカウント、⑧小田のステイルがアンスポートマンライクファウルを誘発するなどリードを再び広げ、23-13で1Qを終了。

#### 【第2Q】

第2Qも三田松聖の勢いが止まらず、⑨木下のターンシュート、⑧小田のステイルからのレイアップが決まった残り9分16秒、三田松聖27-13の14点差で神戸龍谷前半2回目のタイムアウト。後がない神戸龍谷はキャプテン⑧山下がここから奮起し1on1からのドライブでバスケットカウントを決めるなど、このクォーターだけで11得点するが、三田松聖は⑪花房の3Pシュートや⑥梅川のミド



ルシュート、そして前半14得点と好調の④井村のターンシュートでリードを保ち、45-32の13点差で前半終了。

#### 【第3Q】

序盤にまたしても勢いをつけたのは三田松聖。④井村のゴール下と⑧小田の2本の3Pシュートが決まり、残り7分35秒、55-34で神戸龍谷たまらずタイムアウト。神戸龍谷は2-2-1ゾーンプレスを仕掛けるなどディフェンスのプレッシャーを強め、⑤櫻井の3Pシュートなどで活路を見出そうとするが、三田松聖は④四谷のレイアップや⑪花房の3Pシュートなどで確実に点数を重ね、68-43の25点差で3Q終了。

#### 【第4Q】

開始早々に三田松聖はこの試合24得点の④井村のゴール下、シュートタッチの悪かった⑨木下が3Pシュート、ゴール下の連続得点を決めるなど30点差をつけ、勝負を決めた。神戸龍谷も最後まで諦めず⑥藤田、⑧山下を中心にプレーし、新人戦優勝校としての意地を見せたが、最後はベンチメンバーも出場するなど終始優位に試合を進めた三田松聖が94-61の33点差で勝利し、3大会連続のインターハイ出場を決めた。



【最優秀選手】木下 楓（三田松聖⑨）

【優秀選手】四谷 花音（三田松聖④）

小田歩羽彩（三田松聖⑧）

山下 花（神戸龍谷⑧）

田中 もも（市尼崎⑦）

村岡 凜央（日ノ本④）

藤本 美羽（神戸龍谷⑫）

森本 晃久（園田⑩）

田中 杏（百合⑩）

南部 心優（神港学園④）

### 第69回兵庫県高等学校総合体育大会

### 令和7年度兵庫県高等学校バスケットボール大会

### キャプテンインタビュー

### CAPTAIN INTERVIEW

#### ◆男子優勝

報徳学園高校

⑦野々部 旺樹さん



今の気持ちを率直に聞かせてください。

嬉しいです。昨日の準決勝でケガをしてしまって試合には出場できませんでしたが、代わりに後輩が流れを作ってくれて、本当に感謝しかありません。

4月になり、1年生が入学するなどチームの状況にも変化はあったと思いますが、どんなことを意識しながら、チームとして取り組んできましたか？

相手を60点未満に抑えることをずっと意識してやってきました。決勝は達成できましたが、準決勝は70点取られてしまったので、徹底していくたいです。

キャプテンになり、どのように成長したと自身で感じますか？

自分自身が試合でチームを引っ張っていくこと、普段の練習からチームをまとめることで、自分を鍛えられたと思います。一時期チームがバラバラな時があったのですが、2か月前に僕が怪我をして、チームに変化がありました。みんなが頑張ろう、みんなで頑張ろう、そして自分も頑張ろうと考えるようになりました。僕は自分自身のキャプテンというプレッシャーも糧にして、ここまでやってこれたと思います。本当にチームメイトには感謝しています。

最後に、インターハイの目標を教えてください。

ベスト4です。自分たちの今までやって来たことを最大限ぶつけたいと思います。

#### ◆女子優勝

三田松聖高校

⑨木下 楓さん



インターハイ出場を決めた今の気持ち

無事優勝できてとても嬉しいです。

新人戦（2月）は決勝で負けてしまいましたが、私たちは負けを知つて必ず強くなれると信じて頑張ってきました。

この大会に向けて、チームで取り組んできたことは何ですか？

新人戦の敗北を通して、改めて様々な面を見直すことができました。チーム全体で細部まで練習を見直し、リバウンドなどを含めた球際をより強化することに取り組みました。以前は甘かった部分が多くあったと思いますが、今後を見据え、日本一を目指すチームとしてあらためて見直すことができてよかったです。

チームで大切にしていることは何ですか？

私たちは、試合中に観客席も含めて全員で雰囲気を作つて、チームの結束力を高めて試合に臨むことを大切にしています。ベンチもコート内も全員が繋がり、一体となってみんなで声を出してバスケットをすることを大切にしています。

キャプテンとして心掛けていることは何ですか？

声でチームをまとめしていくことに加えて、私の場合は、良いシュートと良いディフェンスをチーム内で誰よりも率先し、プレーでチームを引っ張っていくことを考えています。

チームの課題、今後の目標を教えてください

チームの課題としては、隙を突かれた時の1on1で抜かれたり、シュートまで決められたりする場面があることがチームの課題です。プレイヤー1人ひとり、技術をより向上させていきたいです。インターハイでは全国ベスト8を目指して頑張ります！

# 第72回 近畿高等学校バスケットボール大会

男子 報徳、決勝進出を惜しくも逃す 女子 三田松聖、激戦を制してベスト4！

令和7年6月20（金）～22日（日） グリーンアリーナ神戸

## 《総評》

令和7年度の近畿大会は、令和2年（2020年）の新型コロナによる中止を経て、平成26年（2014年）から11年ぶりに兵庫県で開催された。グリーンアリーナ神戸を会場とし、6月20日からの三日間で開催された。

女子決勝は、延長にもつれる白熱の大接戦となった。昨年末の全国選手権（ウインターカップ）で3連覇を果たした京都精華が、辛うじて大阪薫英女学院を72-69で破り、2年連続3回目の優勝を果たした。

男子決勝は昨年と同じく、東山と洛南の京都対決となった。東山が安定した試合運びを見せて83-48で勝利し、3年連続7回目の優勝を飾った。東山が唯一苦戦した試合は、準決勝の報徳戦であった。

兵庫県勢女子は8チームが出場し、4チームが1回戦を勝ち抜いた。しかし、2回戦を突破したのは県総体で優勝した三田松聖のみであった。その三田松聖は準々決勝で樟蔭（第4シード、大阪2位）を大接戦の末に破り、2年ぶりにベスト4入りを果たした。準決勝では京都精華の高さの前に敗れた。

兵庫県勢男子は8チームが出場したが、1回戦を突破したのは県総体準優勝の育英のみだった。育英は2回戦で強豪の洛南（京都）と大接戦を演じたが、試合最終盤にリードを許して敗れた。県総体で優勝した報徳は初戦となった2回戦で苦戦したが、準々決勝では快勝し、そして臨んだ洛南との準決勝。第3Qに二桁リードを奪うも第4Qに逆転され、あと一歩のところで決勝進出を逃してしまった。



## 男子

### 1回戦

星陵 50 [ 10 - 39 · 10 - 36 ] 136 大阪学院大学  
23 - 21 · 7 - 40 ]

関西学院 71 [ 18 - 19 · 25 - 16 ] 81 比叡山  
12 - 25 · 16 - 21 ] (滋賀)

明石南 52 [ 13 - 25 · 14 - 28 ] 95 近畿大学附属  
10 - 32 · 15 - 10 ] (大阪)

神戸科学技術 73 [ 14 - 25 · 15 - 16 ] 82 初芝橋本  
24 - 19 · 20 - 22 ] (和歌山)

育英 78 [ 19 - 14 · 16 - 9 ] 44 奈良  
25 - 10 · 18 - 11 ]

彩星工科 80 [ 16 - 14 · 24 - 19 ] 84 京都精華学園  
16 - 32 · 24 - 19 ]

神港学園 65 [ 22 - 28 · 9 - 30 ] 87 和歌山北  
17 - 15 · 17 - 14 ]

### 2回戦

報徳学園 71 [ 23 - 9 · 15 - 18 ] 67 大阪桐蔭  
15 - 21 · 18 - 19 ]



育英 64 [ 25 - 22 · 14 - 17 ] 71 洛南  
13 - 17 · 12 - 15 ] (京都)



### 準々決勝

報徳学園 71 [ 13 - 14 · 15 - 10 ] 44 近畿大学附属  
21 - 8 · 22 - 12 ]

### 戦評

【第1Q】ディフェンスは両者マンツーマン。報徳は⑯西谷が連続で3Pシュート決めリードを奪うが、近大附属も⑪和氣の3Pシュートなどでスコアを伸ばしていく。両者激しいディフェンスで流れをつかもうとするが、膠着状態が続く。残り1分、近大附属は1-2-2のオールコートプレスを仕掛け流れを掴む。13-14と近大附属が1点リードして第1Qを終える。

【第2Q】第1Q同様、一進一退の攻防が続き、残り4分で20-20の同点。その後、近大附属がゾーンディフェンスを仕掛けるが点差は開かない。残り1分、報徳が⑬松本がミドルジャンパー、単独速攻と2連続でスコアし、28-24と報徳4点リードで前半終了。

【第3Q】報徳は⑬松本のドライブ、⑯西谷の3Pシュートでオフェンスのリズムをつかみ、そのままスコアを重ね報徳が連続10得点。残り7分、14点差がついたところでたまらず近大附属がタイムアウト。しかし、報徳の勢いは止まらず、更に点差を広げる。残り5分、近大附属は⑦大森から⑪和氣への合わせが決まり、後半初得点を記録。その後は両者が拮抗し、点差は開きもせぬ詰められもせず、47-32で第3Q終了。

【第4Q】報徳は第3Qの流れそのままにスコアを重ねる。対する近大附属は⑪和氣の個人技を中心に反撃するがその差は縮まらない。報徳はハードなディフェンスからターンオーバーを誘い、⑬松本のバスケットカウント、⑯西谷の3Pシュートなどで点差を広げ、最終スコア71-44と27点差をつけて勝利した。



### 準決勝

報徳学園 55 [ 21 - 18 · 13 - 14 ] 58 東山  
21 - 12 · 0 - 14 ] (京都)

### 戦評

【第1Q】両チームともにマンツーマンでスタート。報徳は序盤、⑬松本のドライブや①山本の1on1で得点を重ね、先手をとる。東山は⑤佐藤凪のPNRからのシュート、④萩のスピード感ある1on1で得点を重ねる。お互い激しいディフェンスで白熱した

展開となる。21-18と報徳がリードして終了。

【第2Q】東山は⑤佐藤凪の3Pシュートから始まり、⑧中村のミドルシュートなどで得点を重ねる。東山が7点連続得点で報徳はタイムアウトをとる。報徳は①山本の1on1や⑬トンプシンのゴール下シュートで巻き返し、オフェンスを立て直す。34-32と報徳リードで試合は後半へ。

【第3Q】開始早々、報徳は⑪早崎の1on1で流れをつくる。さらに報徳は⑬松本のドライブやミドルシュートなどの連続得点で東山を突き放し、11点のリードを奪う。東山は、⑧中村の3Pシュートで巻き返しをはかるが波に乗りきれない。報徳のリードは揺るがず44-55で第3Q終了。

【第4Q】東山は激しいディフェンスから速攻の得点を重ね、さらに⑪佐藤久の3Pシュートや⑤佐藤凪の1on1で点差を縮める。報徳はタイムアウトを取り、試合の流れを変えようとするが、東山の堅実なディフェンスの前に得点を奪えない。残り2分、ついに東山は④萩のドライブシュートで逆転に成功する。報徳は、⑬松本の1on1で攻めるも、東山の粘り強いディフェンスから得点が全く奪えず、55-58で東山が勝利し、決勝へ進んだ。



男子準決勝第1Q、報徳⑬松本がシュートを決める

## 女子

### 1回戦

百合学院 71 [ 14 - 29 · 19 - 16 ] 87 大商学園  
(大阪)

日ノ本学園 83 [ 29 - 22 · 18 - 11 ] 66 奈良女子  
(奈良)

三田松聖 102 [ 27 - 18 · 36 - 11 ] 60 郡山  
(奈良)

神戸星城 74 [ 12 - 20 · 20 - 14 ] 51 星林  
(和歌山)

神港学園 57 [ 16 - 23 · 8 - 16 ] 73 大塚  
(大阪)

神戸龍谷 55 [ 17 - 16 · 11 - 18 ] 68 奈良文化  
(奈良)

市立尼崎 91 [ 23 - 30 · 17 - 14 ] 77 福知山成美  
(京都)

園田学園 53 [ 15 - 11 · 12 - 17 ] 64 草津東  
(滋賀)

### 2回戦

日ノ本学園 75 [ 20 - 26 · 13 - 28 ] 85 近江兄弟社  
(滋賀)



三田松聖 65 [ 22 - 6 · 14 - 10 ] 46 関西大学第一  
(大阪)



神戸星城 71 [ 14 - 29 · 26 - 22 ] 91 樺蔭  
(大阪)



市立尼崎 82 [ 28 - 32 · 18 - 29 ] 108 弘文学園女子  
(大阪)



### 準々決勝

三田松聖 78 [ 30 - 21 · 16 - 18 ] 75 樺蔭



### 戦評

【第1Q】両者マンツーマンディフェンスで始まり、三田松聖は、  
②井村のポストプレーを活かして順調に得点を重ねる。樺蔭も3P  
シュートを狙うがなかなか決まらず苦戦する。30-21と三田松聖が  
リードして第1Q終了。

【第2Q】樺蔭は④佐藤らが積極的に1on1を仕掛け勢いに乗ると、三田松聖はその流れを止めることができず、オフェンスも停滞して試合中盤、得点が止まる。残り4分、三田松聖⑧小田が交代に入り、スティールからの速攻を決めて流れが変わったが、  
樺蔭⑥原が3Pシュートを決め返すなど一進一退の攻防が続く。46-39三田松聖リードのまま試合は後半へ。

【第3Q】三田松聖はシュートまで行けず攻めあぐむ中、樺蔭は着実に得点を重ね、点差を詰めていく。中盤からお互い譲らぬ展開が続く中、残り1分、樺蔭は⑤丹羽の3Pシュートで逆転するが、  
三田松聖も⑩木下のバスケットカウントなどで64-60と再逆転し、  
三田松聖が4点リードして試合は最終クォーターへ。

【第4Q】白熱した試合展開の中、三田松聖がかろうじてリードを保ち続ける。残り30秒、樺蔭は⑦喜多の3Pシュートが決まり1  
点差にまで詰める。しかし残り7秒で三田松聖は⑨木下がフリースローを2本とも決め、78-75で勝利した。この勝利により三田松聖  
が準決勝へ進んだ。



### 準決勝

三田松聖 53 [ 15 - 31 · 16 - 22 ] 101 京都精華学園

### 戦評

【第1Q】両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。  
序盤、京都精華は⑯シガルラにボールを集め、ゴール下で得点を重ねていく。一方、三田松聖はファイブアウトでコートを広く使いながらポストプレーや⑩木下の3Pシュートで対抗する。しかし京都精華はディフェンスリバウンドを安定してキープし、そこから⑤

金谷らが速攻でリードを広げ、15-31と京都精華がリードして終わる。

【第2Q】三田松聖は積極的にアウトサイドシュートを狙い、⑦四谷、⑧小田らが3Pシュートを決めていく。しかし京都精華は慌てることなく⑪吉田のPNRからシュートやゴール下への合わせにつなげていき、追い上げを許さない。三田松聖はさまざまなバターンのオフェンスを仕掛けるがなかなか京都精華のディフェンスを破ることができず、京都精華が31-53とリードを広げて前半を折り返した。

【第3Q】京都精華は、⑯シガルラのポストプレーから自らのシュートやゴール下へ飛び込む⑥石渡への合わせなどで、着実に得点を重ねていく。三田松聖は留学生にマッチアップされている⑫井村が積極的に3Pシュートを放ち、追い上げをはかる。しかし、京都精華は高さを生かして⑮フェリックスがオフェンスリバウンドからシュートをねじ込み、さらに点差を広げて45-76としてこのクォーターを終える。

【第4Q】三田松聖はドライブを中心にオフェンスを展開し、⑩木下のジャンプシュートなどで反撃を試みる。さらに三田松聖は1-1-3のゾーンディフェンスを仕掛けてゲームの流れを変えようとするが、京都精華は落ち着いてパスを展開し、⑪小松の1on1などで得点し、なかなか隙を作らない。京都精華は53-101と安定したゲーム運びで勝利し、決勝へ駒を進めた。



女子準決勝第2Q、三田松聖⑧小田が3Pシュートを決める

# 第41回兵庫県ミニバスケットボール優勝大会

2025年7月19日（土）・20日（日）  
親和学園駒ヶ谷体育館

## 《総評》

2025年7月19日（土）、20日（日）、三田市の親和学園駒ヶ谷体育館に於いて開催。選手たちは大勢の応援者の声援に後押しされるかのように素晴らしいプレーが繰り広げられた。男子はEPIC BASKETBALL ACADEMYが舞子HANDOSに競り勝ち初優勝。女子も接戦の末、西宮浜SEAGULLSが初優勝を飾った。

## 男子優勝：EPIC BASKETBALL ACADEMY



ス、そして粘り強いディフェンスが相手を苦しめた。

## 高いバスケットボールIQ

試合を通して、選手たちは冷静な判断力を示し、状況に応じた最適なプレーを選択していた。これは、日々の練習で培われたバスケットボールIQの高さを示すものである。

## チーム一丸となった戦い

ベンチにいる選手やスタッフも一体となり、コートに立つ選手たちを鼓舞し続けた。チーム全員で掴んだ初優勝と言える。



## 女子優勝：西宮浜SEAGULLS

西宮浜SEAGULLSもまた、創部以来の悲願を達成し、兵庫県の女子ミニバス界にその名を刻んだ。



## 組織的なオフェンスとディフェンス

個々の能力に頼るだけでなく、チーム全体で連動したプレーが光った。バスを巧みに繋ぎ、チャンスを確実にものにするオフェン



## 強固なディフェンスと速攻

相手の攻撃をしっかりと防ぎ、そこから素早いトランジションで得点に繋げるスタイルが、チームの勝利を支えた。

## 持ち前の粘り強さ

どの試合でも、劣勢に立たされても決して諦めず、最後まで食らいつく粘り強さを見せた。これが、僅差の試合をものにする要因となった。

## チームワークの勝利

厳しい練習を乗り越えてきた仲間との強い絆が、コート上での連携プレーに表れていた。全員がそれぞれの役割を全うし、チームとして最高のパフォーマンスを発揮した結果である。



## 大会総括

今大会は、男子・女子ともに新しい優勝チームが誕生したことで、兵庫県ミニバスケットボール界のレベルが拮抗し、どこが勝ってもおかしくないという状況を示した。選手たちは、この大会を通して、技術的な成長だけでなく、チームで目標に向かって努力する大切さや、仲間と喜びを分かち合う素晴らしい学ぶ意義深い大会となった。また、両チームの優勝は、競技をする子どもたちにとって大きな希望となり、今後の兵庫県ミニバスケットボール界のさらなる発展に繋がることを期待させる、素晴らしい大会であった。



## 男子

### Aトーナメント

宝塚ブレイカーズ 46 [14 - 4 - 7 - 11] 34 名和

EPIC 58 [18 - 0 - 10 - 6] 20 豊岡

EPIC 38 [4 - 12 - 8 - 6] 30 宝塚ブレイカーズ

## 交流戦

名和 66 [24 - 2 - 22 - 11] 40 豊岡

## Bトーナメント

SILVER BACKS 37 [9 - 5 - 10 - 3] 17 HOOP BLESS

魚崎 33 [6 - 6 - 10 - 5] 30 稲野

魚崎 32 [8 - 4 - 8 - 4] 30 SILVER BACKS

## 交流戦

HOOP BLESS 39 [10 - 6 - 10 - 9] 31 稲野

## Cトーナメント

江井島 68 [15 - 6 - 20 - 5] 24 相生

舞子 52 [16 - 6 - 16 - 0] 30 豊岡北

舞子 37 [9 - 4 - 8 - 4] 21 江井島

## 交流戦

豊岡北 42 [12 - 14 - 19 - 8] 39 相生

## Dトーナメント

垂水高丸 47 [10 - 9 - 15 - 6] 25 緑

山南 41 [14 - 6 - 11 - 13 - 6] 36 春風

垂水高丸 56 [15 - 9 - 14 - 6] 30 山南

## 交流戦

緑 37 [7 - 8 - 12 - 10] 33 春風

## A交歓

SILVER BACKS 32 [9 - 7 - 8 - 6] 24 宝塚ブレイカーズ

江井島 41 [4 - 10 - 13 - 2] 19 山南

SILVER BACKS 34 [4 - 6 - 7 - 13 - 4] 15 山南

江井島 36 [12 - 5 - 8 - 8] 22 宝塚ブレイカーズ

## B交歓

名和 40 [4 - 9 - 12 - 17 - 3] 30 緑

HOOP BLESS 38 [12 - 10 - 6 - 10 - 5] 23 豊岡北

名和 58 [14 - 15 - 4 - 12 - 11] 21 豊岡北

HOOP BLESS 31 [13 - 4 - 7 - 2 - 13] 27 緑

## C交歓

春風	39	14—14·5—8	34	豊岡
稻野	65	20—4·19—1	30	相生
相生	30	7—14·4—5	29	豊岡
稻野	44	20—8·6—6	26	春風
春風	39	10—5·8—7	26	春風

## 準決勝

EPIC	52	5—8·17—3	25	魚崎
舞子	34	14—6·8—5	25	垂水高丸

## 決 勝

EPIC	33	10—7·8—9	31	舞子
------	----	----------	----	----

## 3位決定戦

垂水高丸	39	7—6·6—7	22	魚崎
------	----	---------	----	----

## 女 子

## あトーナメント

金楽寺	43	9—10·18—11	39	TSUNA AGITOS
鳩里	57	15—6·16—7	23	樋ノ口
鳩里	58	14—8·16—5	38	金楽寺

## 交流戦

樋ノ口	39	6—12·7—5	29	TSUNA AGITOS
-----	----	----------	----	--------------

## いトーナメント

水上籠球	41	10—8·11—8	28	塙口
宝塚ブレイカーズ	47	20—4·12—9	21	豊岡北
水上籠球	64	17—4·16—9	26	宝塚ブレイカーズ

## 交流戦

塙口	38	11—4·12—7	24	豊岡北
----	----	-----------	----	-----

## うトーナメント

佐用	64	17—9·16—17	43	高木
明城	32	13—6·8—9	31	北エンジェルス
明城	51	12—9·12—10	46	佐用

## 交流戦

北エンジェルス	31	8—8·7—10	27	高木
---------	----	----------	----	----

## えトーナメント

西宮浜	53	15—6·16—0	19	西神戸
学園南	44	12—7·10—2	17	南淡
西宮浜	61	19—12·15—5	36	学園南

## 交流戦

西神戸	32	13—6·4—8	31	南淡
-----	----	----------	----	----

## あ交歓

学園南	44	10—12·14—2	25	金楽寺
佐用	36	11—6·12—3	21	宝塚ブレイカーズ
佐用	39	12—3·7—8	23	金楽寺
学園南	32	14—8·8—4	30	宝塚ブレイカーズ

## い交歓

樋ノ口	31	7—6·8—5	25	西神戸
北エンジェルス	24	2—5·10—4	23	塙口
樋ノ口	24	9—2·6—4	21	北エンジェルス
塙口	31	11—4·5—1	17	西神戸

## う交歓

TSUNA AGITOS	35	6—3·11—9	31	高木
豊岡北	42	9—4·8—5	22	南淡
TSUNA AGITOS	40	10—5·14—3	17	豊岡北
高木	40	6—2·17—10	28	南淡

## 準決勝

水上籠球	54	13—7·5—10	34	鳩里
------	----	-----------	----	----

西宮浜	40	10—16·13—5	36	明城
-----	----	------------	----	----

## 決 勝

西宮浜	53	15—9·13—6	34	水上籠球
-----	----	-----------	----	------

## 3位決定戦

明城	61	18—16·12—9	45	鳩里
----	----	------------	----	----

## 令和7年度 兵庫県中学校総合体育大会

## ヴィクトリーナ・ウインク体育館

## 《総評》

7月23日（水）、24日（木）の2日間の日程で西播地区のヴィクトリーナウインク体育館で開催。熱いた高いが繰り広げられた。

大会は、最後まで粘り強く戦う姿勢が各チームに見られ、見ごたえのある試合が続きました。初日は、男子昨年度優勝の望海中学校（東播地区）と新人大会準優勝の上ヶ原中（阪神地区）の対戦がありました。新人大会準決勝と同じカードとなる試合でしたが、前半は互角の戦いが続くも、3Qに上ヶ原中の個人で打開し、リードを広げ勝利しました。女子では、2回戦で浜の宮中（東播地区）と百合学院（阪神地区）の対戦がありました。1Qで浜の宮がリードを作り、3Qにも差を広げるも、4Qに百合学院が3Pを次々と決め、追いつく展開でしたが、最後は浜の宮が逃げ切り勝利しました。

2日目の男子決勝は報徳学園と上ヶ原中の阪神地区同士の対戦となりました。3Qまで同点という展開でしたが、4Qでディフェンスの強度を上げた報徳学園が優勝を果たしました。女子決勝は、鹿島中と浜の宮中の東播地区同士の対戦でした。鹿島中の運動したオールコートプレスに苦戦しながらも、浜の宮中も得点を重ねるも、着実に得点を重ねた鹿島中が優勝を果たしました。男女決勝ともに最後まであきらめない姿勢を見せた両チームの近畿大会での活躍に期待したい。

## 男 子

## 決 勝

西宮市立 32—14—13·2—8 50 報徳学園中学校

西宮市立上ヶ原中学校 報徳学園中学校

反則	自	②	③	得点	No.	No.	得点	③	②	自	反則
4	0	2	0	4	西 遼真	4	藤本 瑞輝	—	—	—	—
0	0	4	1	11	峯崎 太良	5	近藤 蒼太	—	—	—	—
1	0	1	0	2	川前 陽樹	6	近藤 煌太	—	—	—	—
2	0	1	0	2	松原 啓心	7	嶋岡 航	—	—	—	—
0	3	5	0	13	大西 優晴	8	奥村 桜太	—	—	—	—
—	—	—	—	—	佃 煌成						

バスケットカウントを獲得。さらに連続得点でリードを広げる。報徳⑩隅野の3Pも決まり、点差は10点に。上ヶ原はタイムアウトを取りも流れを断ち切れず、報徳はリバウンドを制して着実に加点。終了間際に上ヶ原⑤峯崎が得点するも追撃は届かず。報徳が32-50で勝利した。報徳学園は2年ぶり2回目の優勝。堅いディフェンス・リバウンドから確実性の高いオフェンスにつなげた報徳学園のチーム力を感じる試合だった。

## 女子

### 1回戦

高砂市立鹿島中学校 75 [ 18 - 11 · 19 - 13 ] 45 加古川市立浜の宮中学校  
鹿島中学校 18 - 12 · 20 - 9 浜の宮中学校

高砂市立鹿島中学校 加古川市立浜の宮中学校

反則	自	②	③	得点	No.	No.	得点				③	②	自	反則
							点	野	野	投				
1	0	0	0	0	久保田花月	4	5	中野	心羽	-	-	-	-	-
1	0	4	1	11	日置	仁瑚	5	6	池田	芽衣	-	-	-	-
1	2	8	1	21	神子島	泉	6	7	古賀	琴音	-	-	-	-
0	0	6	0	12	木村向日葵	7	8	原田くらら	0	0	0	0	0	0
4	0	5	2	16	猪	夏葵	8	9	村上	杏	6	0	3	0
2	0	6	1	15	神田	美京	9	10	柴田	美桜	-	-	-	-
-	-	-	-	-	小池	那月	10	11	眞嶋	希夢	3	0	1	1
1	-	-	0	0	山崎	英	11	12	藤井	結愛	-	-	-	-
-	-	-	-	-	川口陽菜	乃	12	13	上田	妃夏	-	-	-	-
-	-	-	-	-	多井	果杏	13	14	峯崎	叶望	-	-	-	-
-	-	-	-	-	日置	真萌	14	15	遠原	陽菜	-	-	-	-
-	-	-	-	-	中谷	祐唯	15	16	久保田夏帆	9	1	3	0	1
-	-	-	-	-	名田	彩葉	16	35	谷口	史恵	-	-	-	-
-	-	-	-	-	小林	渚咲	17	77	丸山	七愛	21	2	6	3
-	-	-	-	-	明石	維月	18	88	松本	陽向	6	0	2	0
10	2	29	5	75			45	3	15	6	18			



### 戦評

1Qは浜の宮⑦丸山のドライブで先制。すぐに鹿島⑥神子島が得点し同点に。鹿島⑥神子島の3Pや速攻からのレイアップシュートなどでリズムをつかみ、13-4とリード。浜の宮はドライブやフリースローで粘るが、鹿島⑧猪が連続得点。終盤は両チームが3Pを決め合い、18-11で鹿島がリードして終了。

2Qは浜の宮はポストプレーでファウルを誘い、フリースローで得点。鹿島は⑦木村のミドル、⑤日置のドライブ、トラップディフェンスからの速攻で24-13と突き放す。浜の宮はタイムアウト後に反撃するも、鹿島⑤日置が3Pを含む連続5得点。浜の宮は⑦丸

山の3Pをきっかけに7得点連続で追い上げるが、前半は37-24で鹿島がリード。

3Qは鹿島⑥神子島のミドルシュートで後半最初の得点を上げる。浜の宮⑪眞嶋もドライブで応戦。鹿島はキックアウトから⑧猪の3Pで得点を広げるが、浜の宮も⑧松本がポストで返す。お互いに好守で得点が止まる時間帯の後、浜の宮⑦丸山がスティールから7得点連続。終盤、鹿島⑧猪が3Pと速攻を決め、55-36で終了。

4Qは鹿島⑥神子島のドライブでリードを広げ、21点差に。浜の宮は鹿島の堅いチームディフェンスに苦しみ、ショットの精度が落ちる。その間に鹿島は出場選手がまんべんなく得点し、65-40で浜の宮がタイムアウト。終盤、浜の宮⑯久保田の3Pにも鹿島はすぐ反撃。最後まで集中を切らさず、75-45で高砂市立鹿島中学校が6年ぶり2回目の優勝を果たした。攻守ともに高い集中力を保った鹿島のチーム力が光った試合であった。

## 男女とも無念の初戦敗退

### 令和7年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会 (インターハイ2025)

令和7年7月27日(日)～8月1日(金)

岡山県総合グラウンド体育館(ジップアリーナ岡山)／岡山市総合文化体育館

### 《総評》

令和7年度の全国高校総体(インターハイ)は、7月27日(日)から8月1日(金)にかけて、岡山市内の各体育館で開催された。

男子は、準々決勝で福岡大大濠や東山(京都)など優勝候補が敗れ去り、混戦となった。決勝は、昨年度のウインターカップで準優勝と躍進した鳥取城北が64-58で八王子学園八王子(東京)を倒し、初優勝を飾った。

女子は、日本航空北海道が準々決勝でインターハイ3連覇中の京都精華学園を3点差で、準決勝では上位常連校の岐阜女子を8点差で退けた。決勝では桜花学園(愛知)に63-59で敗れるものの、素晴らしい健闘をみせた。桜花学園は4年ぶり26回目の優勝を果たした。なお、桜花学園は1986年の岡山インターハイで初優勝したという(当時は前身である名古屋短大付属)。

兵庫県勢の男子は、7大会連続9回目の出場であり、一昨年も昨年もインターハイベスト8だった報徳学園が、1回戦で県立佐賀北に52-58で敗れた。女子は3大会連続3回目の出場となった三田松聖が、1回戦で鳥取城北に64-69で敗れた。近年には珍しく、男女とも1回戦で兵庫県勢は姿を消すことになった。



石井の3Pシュートや④品川のミドルシュートで再びリードを広げれば、報徳も⑧松本の1on1からのミドルシュート、①山本のリバウンドからのシュートで応戦し、15-16の佐賀北1点リードで終了。

### 【第2Q】

報徳ボールでスタートし、①山本のドライブがバスケットカウントとなりこの試合初めてリードを奪う。逆転しディフェンスの強度が上がった報徳に対して、佐賀北のミスが増えて得点が止まる。報徳は①山本のミドルシュートや⑬トンプシンのゴール下で22-16となり。佐賀北は5分間ノーゴールが続いたが、この試合好調の④品川のドライブが決まり、何とか流れを寄せようとする。しかし、報徳も⑭野々部のスティールからレイアップなどで26-18となり。このまま流れに乗るかと思われたが、ディフェンスをゾーンに切り替えた佐賀北の前に報徳も得点が伸びず、その間に佐賀北は④品川の3Pシュート、⑨石井のゴール下などで26-26の同点に追いつく。報徳は⑬トンプシンがクリアアウトで作ったスペースを⑯吉田がゴール下で合わせて勝ち越すも、佐賀北も残り4.8秒で得たフリースローを2本決めて、28-28の同点で終了。

### 【第3Q】

均衡を破ったのは佐賀北。④品川のバックドアや⑬西原の3Pシュート、さらに⑪田中のスティールからのレイアップが決まった残り8分、30-37で報徳がたまらずタイムアウト。直後に報徳⑭野々部がリバウンドからシュートを決めるが、佐賀北は⑨石井がゴール下、⑪田中がミドルシュートを決め返し、32-41となり。残り4分58秒で報徳は2回目のタイムアウトを取り、⑬トンプシンの連続バスケットカウントで流れをつかむかと思われたが、佐賀北も④品川のドライブなどで着実に加点し、38-47の佐賀北9点リードで終了。

### 【第4Q】

序盤は両チームともシュートが入らずスコアが停滞するが、佐賀北⑪田中の3Pシュートが決まり42-52となった残り3分35秒から



試合が動き出す。報徳は⑦寺尾、⑩トンプシンのゴール下や⑪松本の連続ドライブなどで、残り52.6秒でついに同点に追いつく。佐賀北はタイムアウトを取りサイドプレーを選択。そのサイドプレーで報徳⑩トンプシンのファウルを誘い、5ファウル退場となる。佐賀北はチームファウルで得たフリースローを⑧潤上が1本決めて勝ち越し、さらに⑪田中が残り23.4秒で3Pシュートを決めて、52-56の4点差とする。報徳は3回目のタイムアウトを取り、サイドプレーから⑯西谷に3Pシュートを託すも外れ、万事休す。報徳が52-58で敗れて1回戦敗退となった。

報徳のエース⑪松本が19得点、⑩トンプシンが12得点、リバウンドでダブルダブルを記録するも、3Pシュートが9%、2Pシュートが40%といずれも佐賀北を下回り、シュート精度が最後まで低く、リズムに乗り切れなかった。ウインターカップに向けてこの悔しさをバネに巻きかえしを期待したい。



## 女子

### 1回戦

三田松聖 64 [ 22 - 19 · 13 - 10 ] 69 鳥取城北  
16 - 25 · 13 - 15



## 戦評

### 【第1Q】

両者マンツーマンでスタート。鳥取城北は開始7秒で⑤坂根が3Pシュートを決めるが、三田松聖⑧小田もすぐに3Pシュートを決め返す。その後も三田松聖は残り4分、⑨木下の速攻や⑩井村のインサイドの合わせ、リバウンドからのルーズボールを勝ち取った⑥梅川のゴール下シュートなど、着実に点数を重ねていく。残り2分、三田松聖はオールコートプレスを仕掛けて相手のミスを誘うが、鳥取城北は⑨山岡の3Pシュートに⑪エフェアドゥエの速攻など最後

の1秒まで点数を詰める。22-19と三田松聖のリードで第1Q終了。

### 【第2Q】

鳥取城北は第2クォーター開始すぐに④佐藤が速攻を決め、勢いに乗る。なかなかシュートが決まらず苦戦する三田松聖だったが、⑧小田がスピード感あふれる1on1に挑み、2本連続シュートを決め、鳥取城北の流れを止める。残り4分、鳥取城北の⑥古賀が3Pシュートを決めるも点差を縮めることはできず、35-29と三田松聖リードで前半を終える。

### 【第3Q】

両者ハーフコートマンツーマンで始まる。開始30秒で鳥取城北⑥古賀が3Pシュートを決め、続いて④佐藤との合わせで⑥古賀が連続で得点を決める。さらに⑪エフェアドゥエがフリースローを決め、残り7分半で同点に追いつく。三田松聖はゾーンディフェンスに切り替えるが、リバウンドに苦戦してなかなか点差を広げることが出来ない。その後も両者一步も譲らず一進一退の攻防を繰り返す。51-54と鳥取城北のリードで試合は最終クォーターへ。

### 【第4Q】

開始直後、三田松聖⑨木下は鳥取城北の厚いディフェンスに対してペイントアタックを試みるもゴールに嫌われる。鳥取城北は残り6分、⑨山岡の3Pシュート、⑪阿部のリバウンドシュートが決まり、勢いに乗る。三田松聖は、⑩井村のゴール下シュートや、⑧小田の強気な1on1などで得点を重ねるも、その差を縮めることができない。64-69と鳥取城北が5点差で勝利した。敗れはしたが、終始ハードなディフェンスで体を張り、全力を出し切った三田松聖に大きな拍手と賛辞を贈りたい。



## 第80回兵庫県総合バスケットボール選手権大会

### 兼 第101回天皇杯・第92回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会 兵庫県代表決定戦



(男子の部) 信和グループが5年ぶりの優勝、

(女子の部) 関西学院大学が13年ぶり制覇！

令和7年8月31日(日) Life partner Arena(兵庫県立総合体育館)



ブザーとともに⑧河野がシュートを沈め21-29と神戸医療未来が8点リードしてこのクォーターが終了した。

### 【第2クォーター】

信和は⑬アサン、⑤磯尾の活躍で点差を詰めるも神戸医療は⑧河野、⑪千代村の3Pシュートが決まり譲らない。信和⑮松岡(太)⑬アサンが決め、⑯横山がオフェンスリバウンドからゴール下を沈め37-39と2点差になったところで神戸医療がタイムアウト。神戸医療は⑭JOHNが決めリードを広げるも、信和⑯横山がバスケットボールカウントを沈める。神戸医療は⑭肥塚、⑧河野が躍動し譲らない。信和⑬アサンのボスプレーが決まり42-46となった所で神戸医療が前半2回目のタイムアウトを取る。タイムアウト後、信和はディフェンスから仕掛け神戸医療のミスを誘い点差を詰めるも神戸医療も譲らず43-46と神戸医療が3点リードして前半が終了した。

### 【第3クォーター】

信和⑪山口のブレイクが決まり点差を詰める。神戸医療も⑨小山が3Pシュートを決め譲らない。信和は⑪田中の3Pシュートが決まり逆転、その後は共に入れ合いシーソーゲームとなる。信和は⑭真鍋の3Pシュートが決まり逆転に成功すると相手のターンオーバーをよそに⑬アサン、⑩田中が連続で点しリードを広げ、ブレイクから⑭真鍋のパスを受けた⑬アサンが豪快にダンクシュートを沈め67-59となったところで神戸医療がタイムアウトを取った。タイムアウト後も信和ベースで試合は進み、⑬アサンのボースダンクも決まりリードを広げる。終盤、神戸医療も意地を見せるも71-65と信和が6点リードし、最終クォーターへ。

### 【第4クォーター】

信和⑯横山、⑫山口が活躍し点差を広げる。神戸医療も⑭宮本が

3Pシュートを沈め譲らない。信和⑧井上の3Pシュートが連続して決まりリードを広げる。神戸医療も意地を見せ⑨河野が連続得点し81-77と4点差になった所で信和がタイムアウト。信和は⑩真鍋、⑪田中、神戸医療⑫宮本が点を取りあう展開になるも、信和⑬田中がこのクォーター2本目の3Pシュートを沈め91-82となり神戸医療がたまらずタイムアウトを取る。神戸医療は意地を見せ⑯三好、⑰肥塚が連続得点。信和も⑮松岡（太）、⑯アサンが得点するも神戸医療⑰肥塚の連続得点で95-91と4点差になったところで信和が後半2回目のタイムアウトを取った。タイムアウト後、神戸医療はファールゲームに持ち込むも信和は冷静にフリースローを沈める。神戸医療も試合終了間際に連続して3Pを沈め意地を見せるも万事休す。104-99で信和が勝利し、5年ぶり3度目の優勝を飾った。



## 女子

### 決勝

関西学院大学 79 [ 27 - 20 · 21 - 18 ] 69 OTC ANCHORS

反則	自投	②	③	得点	No.		得点	③	②	自投	反則	
					野	野	No.	No.				
3	0	0	0	0	長田	未来	0	4	祇園	来美	15	3
-	-	-	-	-	山口	優利亞	2	5	愛川	桃菜	11	2
2	5	7	0	19	前田	心咲	5	6	屋宜	百合香	-	-
-	-	-	-	-	伊藤	希	6	7	阿部	瑞稀	0	0
-	-	-	-	-	松川	陶子	11	8	清水	悠紗	-	-
-	-	-	-	-	前田	依沙	13	9	矢田	貴海	2	0
0	0	1	0	2	北野	花	14	10	澤田	知里	-	-
0	0	1	0	2	北之防	希光	17	11	藤田	真生	11	1
0	0	2	1	7	東	紅花	21	13	佐坂	明音	7	0
3	0	6	3	21	辻畠	有咲	23	14	田代	ゆい	4	0
-	-	-	-	-	岡田	袖葵	26	16	奥村	鈴	15	1
-	-	-	-	-	大田	みや	28	17	石田	千尋	4	0
1	2	2	1	7	井口	姫愛	30	18	池下	果歩	0	0
0	2	0	1	5	亀田	ゆな	39	19	高橋	こはく	-	-
2	3	5	1	16	片山	朋子	72	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	唐原	璃子	88	-	-	-	-	-
11	10	24	7	79			69	7	22	4	10	

OTC ANCHORS



### 戦評

女子の決勝は第1シードで大学1位の関西学院大学と第3シードでSBリーグのOTC ANCHORSとの対戦となった。

### 第1クォーター

関西学院大学（以下、関学）は⑤前田（心）がミドルシュート

を決め先制。OTC ANCHORS（以下、OTC）は⑯奥村、⑪藤田が得点する。関学が激しいディフェンスからペースを握ろうとするもOTCも譲らず点の取り合いになる。終盤、関学は⑭片山の3Pシュートが決まりリードを広げると、更にディフェンスの強度を高め相手のミスを誘い連続得点し点差を広げる。OTCも⑯奥村がドライブを捻じ込み意地を見せるも27-20と関学リードでこのクォーターが終了した。

### 第2クォーター

関学はディフェンスの強度を高め相手のミスを誘い⑭片山が得点しリードを広げる。OTCも果敢にダブルチームを仕掛け関学のミスを誘い譲らない。関学は素早いトランジションから⑯井口が決めリードを広げる。更に関学が走りOTCがファールでブレイクを止めたところでOTCが前半最初のタイムアウトを取るも関学ペースは変わらず⑭片山がフリースローを落ち着いて決め10点差になる。OTC④祇園が3Pシュートを決めるが、すぐさま関学⑯井口が入れ返し譲らない。OTCは再度タイムアウトを取り、ゾーンディフェンスに変え点差を詰める。関学はタイムアウトを取り悪い流れを切りペースを引き戻す。終盤、お互いにタフショットを決める展開になる。48-38と関学が10点差リードで前半が終了した。

### 第3クォーター

関学は⑤前田（心）の活躍で一気にリード広げる。OTCも意地を見せ⑬北野、⑯奥村が連続で得点する。共に入れあう時間帯が続くが関学⑭辻畠の3Pシュート、更にブレイクが決まり14点差と



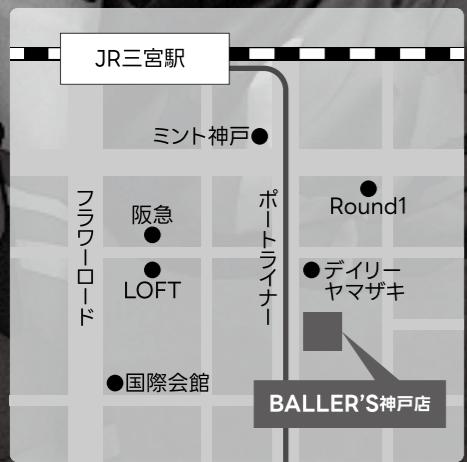
なりOTCがたまらずタイムアウトを取った。お互いに我慢の時間が続くがOTC④祇園が活躍し9点差とする。関学も譲らず⑬東の活躍でリード広げるがOTC⑯奥村がブザーと同時にドライブを沈め68-57と11点差で最終クォーターへ。

### 第4クォーター

OTC⑪藤田のドライブが決まり点差を詰める。関学⑤前田（心）がオフェンスリバウンドからゴール下を決め譲らない。OTCはインサイドの⑬佐坂が得点し反撃の狼煙をあげるも、関学⑬東が3Pシュートを沈めリードを広げる。関学はディフェンスの強度を上げOTCのミスを誘う。OTCも意地を見せるも関学のハードディフェンスと素早いトランジションの前に点差を縮められず79-69と10点差を付け関西学院大学が今大会を制し13年ぶり2度目の優勝を飾った。



バスケットボール専門店  
BALLER'S 神戸店



神戸市中央区御幸通6-1-12三宮ビル東館1F  
078-291-6233 FAX 078-291-6244  
info@baller's-hf.com

営業時間 [平日] 11:00-19:00  
[土日祝] 10:00-19:00

毎週水曜定休日

一緒に働きませんか?  
バスケットボールが大好きな方大歓迎!!

## 店舗スタッフ募集中

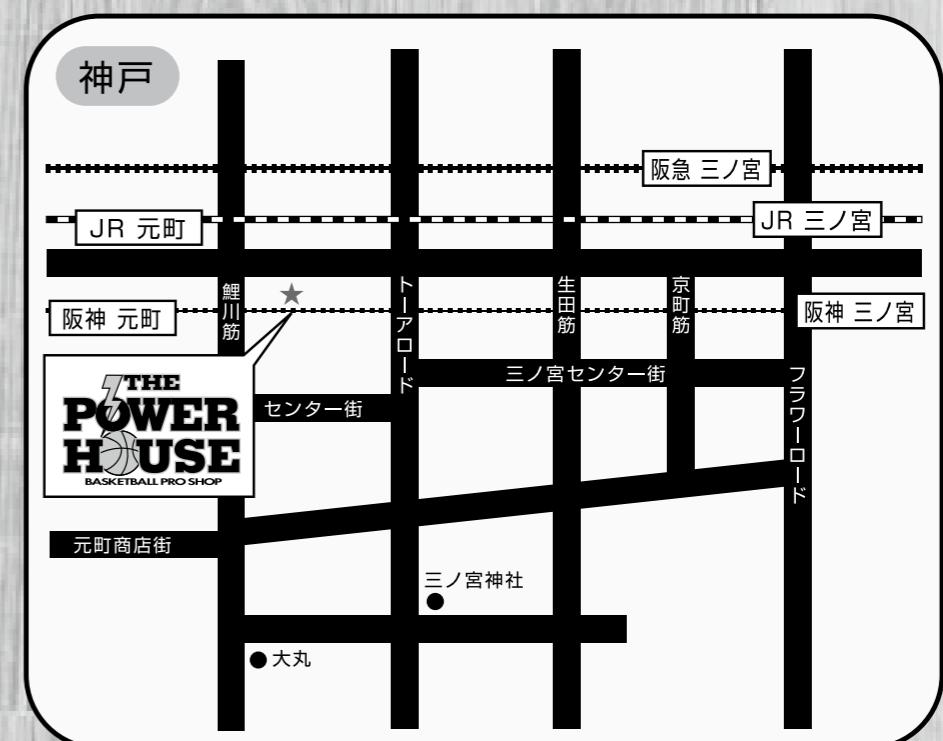
正社員・パート・アルバイト

お仕事内容▶ 接客対応 店頭整理 SNS投稿 レジ作業 etc

お問合せはお気軽に

078-291-6233まで [info@ballers-hf.com](mailto:info@ballers-hf.com)  
(担当 榎本・松本)

POWER HOUSE  
THE POWER HOUSE - KOBE -  
BASKETBALL SHOP



**MIKASA**  
Sports every day!

**molten**  
*feel the emotion*



*feel the emotion*

スポーツの報酬は感情だ。  
動き出せ。つながり続けよう。感情に向き合え。

**CF7000** 検定球7号 男子用 一般 大学 高校・中学  
**CF6000** 検定球6号 女子用 一般 大学 高校・中学  
●特殊天然皮革、推奨内圧0.560kgf/cm<sup>2</sup>



## さあ、どんな未来にする？

土地活用のプロフェッショナル、信和があなたの未来のお手伝いを致します。

マンションオーナーの夢実現いたします。

事前準備は大切、何度も何度も丁寧に！ ◎立地調査、資金計画サポート  
明治25年創業。豊富な経験と安心の実績 ◎ルネス工法の快適、安全住宅  
入居率95%以上の実績 ◎入居者・マンション管理と未来シミュレーション

マンション一棟販売▶ご提案するのは TEAM SHINWA の自社開発物件。だから、安心。



優良物件  
多数保有



想像以上  
の提案力

信和が全てをお手伝い



# 信和グループ

お電話  
から

0120-567-169

受付時間／9:00～18:00

本社●大阪市中央区南船場1-18-11 SRビル長堀

WEB  
から

信和建設株式会社  
[www.shinwakensetsu.com](http://www.shinwakensetsu.com)

信和不動産株式会社  
[shinwa-fudousan.co.jp](http://shinwa-fudousan.co.jp)